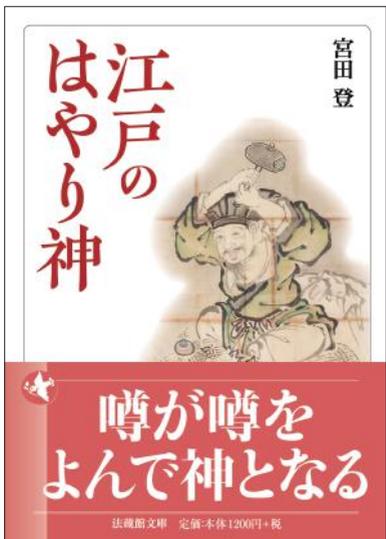


江戸のはやり神

宗教・民俗学

みやた のぼる
宮田 登著
▼文庫判・並製カバー！336頁・定価1,330円

2023年3月刊行



お稲荷さんや七福神など、民衆の関心で爆発的に流行し、不要になれば棄てられた神仏。その特徴と、背景にある日本人の宗教意識に迫る。

【目次】

はしがき
はじめに——流行神研究の意義

I 流行神の諸相

- 1 流行神の出現
- 2 願かけの諸相
- 3 流行神と地域社会
 - 一 古峯信仰／二 愛宕信仰／三 恵比須信仰

- V 流行神の構造
- 1 民俗神道としての流行神
 - 2 人神と祀り棄て
- 主要参考文献
流行神関係年表
文庫版あとがき
解説(小松和彦)

II 流行神の系譜

- 1 御霊信仰の系譜
- 2 和霊信仰の系譜
- 3 疱瘡神の福神化
- 4 福神信仰の系譜

III 流行神仏の性格

- 1 近世寺院と流行神仏
- 2 境内仏と鎮守神
- 3 霊験の機能化と統合化

IV 流行神の思想

- 1 流行神と終末観
- 2 流行神と世直し
- 3 流行神とメシアニズム

◆著者・解説者略歴

宮田 登(みやた のぼる)

一九三六年生まれ。東京教育大学文学部卒業。同大学大学院修了。筑波大学教授、神奈川大学教授を歴任。筑波大学名誉教授。二〇〇〇年没。著書は、『ミクロ信仰の研究』(未来社)、『都市民俗論の課題』(未来社)、『妖怪の民俗学』(岩波書店)、『終末観の民俗学』(青土社)、『心なおし』はなぜ流行る(小学館)など多数。

小松和彦(こまつ かずひこ)

一九四七年東京都生まれ。東京都立大学大学院社会科学研究所博士課程修了。専攻は文化人類学・民俗学。信州大学助教授、大阪大学教授、国際日本文化研究センター所長を歴任。現在、国際日本文化研究センター名誉教授。紫綬褒章、文化功労者。著書に、『憑霊信仰論』(異人論)『妖怪文化入門』『妖怪学新考』、『いざなぎ流の研究』、『神なき時代の民俗学』、『異界と日本人』、『鬼と日本人』、『聖地と日本人』、『神になった日本人』など著書多数。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
宮田 登著	法蔵館
江戸のはやり神	定価 1,330円
【法蔵館文庫】	住所
ISBN: 978-4-8318-2646-6 C1139	お電話
	お名前

ご注文はFAX: 075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp